



愛川ふれあいの村 今月の風景

2020年4月 自然のたより

毎年来村された方々に花自慢をするのが4月の恒例となっていました。今年は、感染症対策で外出を自粛することとなり、色鮮やかな村の自然は、ブログや自然のたよりでの紹介となりました。しかし、花の蜜を求めて来村する蝶や蜂たちは外出の自粛はないため、いつも通りの活動を続けていました。鳥たちもこの時期は巣作りが忙しくなり、苔や藁を加えた姿を観察することができました。外出の自粛が解かれたときにこの自然の営みの続きが観察できること楽しみにしたいと思います。(加藤)



山のサクラもきれい



スギタニルリシジミ



オオムラサキの越冬



ミヤマとニッポノバガハバチ



フデリンドウ



サクラとイカル



イカリソウ



コツバメ



エンレイソウ



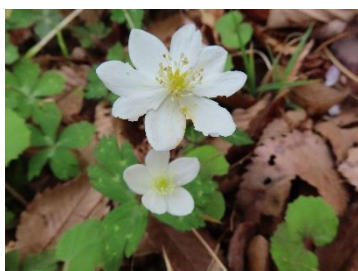
ソメイヨシノ



オオムラサキとスズク



シジュウカラの巣作り



ニリンソウ



ハラン



キセキレイの巣作り

トピックス ★クロモジ★

歯にはしまったものをとるときに何気なく使う“爪楊枝”。

この爪楊枝は何の木からできているか知っていますか。ヒントは歯にいい成分が入っていて、歯茎に優しい柔らかさの木です。正解はシラカバです。

しかし、今回紹介するのは『クロモジの爪楊枝』です。1本1本丁寧に乾燥させて、削ったそれは高級品です。お茶をやられる方にはなじみがあるかもしれません、やっていなくてもどこか使ったことがあるのではないのでしょうか。

クロモジは山に普通に生える落葉低木で、3月から4月に花を付けます。材には芳香があり、しなやかで丈夫です。秋には黄葉し、とても美しいです。

おそらく手に入りやすいことや加工しやすいこと、殺菌作用を持つことで広まっていたのではないのでしょうか。その歴史は古く、江戸時代から使用されていたといわれます。

最近ではあまり知られなくなってしまったかもしれませんが、身近なものの歴史を知ると、そのものに愛着がわいてきます。山歩きでクロモジを探す楽しみが追加されて、ハイキングがより楽しく行えることと思います。知識が増えると生活が豊かになりますね。(石川)



生き物 ★見ると観る★

私たちにあって一番身近な鳥は何ですか？と聞かれたら、『スズメ』と答える方が多いのではないのでしょうか。それでは『スズメの絵』を描いてと言われると…さて、どんな顔・姿をしてたっけ？となることでしょうか。いつも見ているのに絵に書くことができないのはどうしてでしょうか？それは、“見”てはいるけど“観”ていないということです。

ちょっと足元に目を落としてみてください。様々な野草が咲いています。雑草ではありません。みんな名前があります。“見る”から“観る”へ。そうしたら鳥も虫も草花もいろんな生き物に出会えます。そして多くの発見ができて、自然の楽しさを知ることができます。(高梨)



旬 ★たけのこ★

4月に入り、たけのこをお店で見るようになりました。たけのこは、炊き込みご飯・煮物・炒め物・お吸い物等、どんな料理にも合い、美味しいですね。たけのこを購入したら、できるだけ早くあく抜きをしましょう。えぐみを減らすポイントです。堀りたては、えぐみが少なく、あく抜きをしなくても、皮ごと焼いて食べられます。

もし、たけのこを堀りに行く場合は、朝がお勧めです。成長が早く放っておくとどんどん固くなってしまいます。食べごろのたけのこを堀るには、やはり朝に行きましょう。

※事前に掘ってもよい場所か確認してください。

(菅原)



来月の見どころ 愛鳥週間
今年には桜の開花が例年よりも早かったが、花冷えや積雪がありヤマザクラやソメイヨシノなどが同時に見られ、今はサトザクラが咲いている。
5月は木々の緑も新緑から萌黄色へさらに緑へと変わっていき爽やかな風と共に鳥たちのコーラスも聞こえてくるようになる。
愛鳥週間は、野鳥を通してそれを取り巻く自然環境に目を向け、その環境を保護することの大切さを広めていくことで、この活動は戦後のあれだ時代を生き抜く子どもたちの大きな心の支えとなったようだ。
村にはたくさん夏の鳥たちが渡ってくる。早朝から「ピッコロピッコロ、オーシツクツクツク」と変化のある美しい囀りをするキビタキの声を聴きながら散策するのが楽しみである。
子どもたちと共に野鳥が何をしているだろうと調べていくと、餌を探す、飛び、囀る、毛繕い、繁殖など分かってきてさらに調べたくなる。そうすると、今まで普通にいたツバメやスズメが、減少していることにも気づくかもしれない。野鳥保護は生物多様性保護にも繋がっていく大切な活動である。(吉田)

